

WEB アンケートから見る・考える「こうちの男女共同参画」

「第2回 女性の政治参画」 集計結果概要

(実施期間：令和4年6月15日～7月15日)

第2回 WEB アンケート「女性の政治参画」の集計結果をご紹介します。

〈アンケート実施期間と方法〉

令和4年6月15日～7月15日 (Google フォームを使用)

〈回答者総数〉

273名 (県外9名を含む)

【性別毎の割合】

女性 166名 (60.8%) 男性 98名 (35.9%) その他4名 (1.5%) 回答しない5名 (1.8%)

【年代毎の割合】

内訳：19歳以下 30名 (11%) 20歳代 62名 (22.7%) 30歳代 42名 (15.4%)

40歳代 60名 (22%) 50歳代 57名 (20.9%) 60歳代 18名 (6.6%)

70歳代 3名 (1.1%) 80歳以上 1名 (0.4%)

【問1】日本における女性議員割合は下記のとおり低くなっています。女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思いますか？

全体の8割近くの回答者が「増えた方がいい」と回答しました。「性別割合は問題ではない」との回答も2割近くありました。

「増えた方がいい」と思う理由として「女性の立場向上や女性のための制度・考えが反映される」「政治を多面的な視点から見ることができる」などの意見があり、「性別割合は問題ではない」と考える理由としては「性別ではなく能力で選出されるべき」などの意見がありました。

【問2】女性議員の割合が低い理由はなぜだと思いますか。(選択式・複数回答)

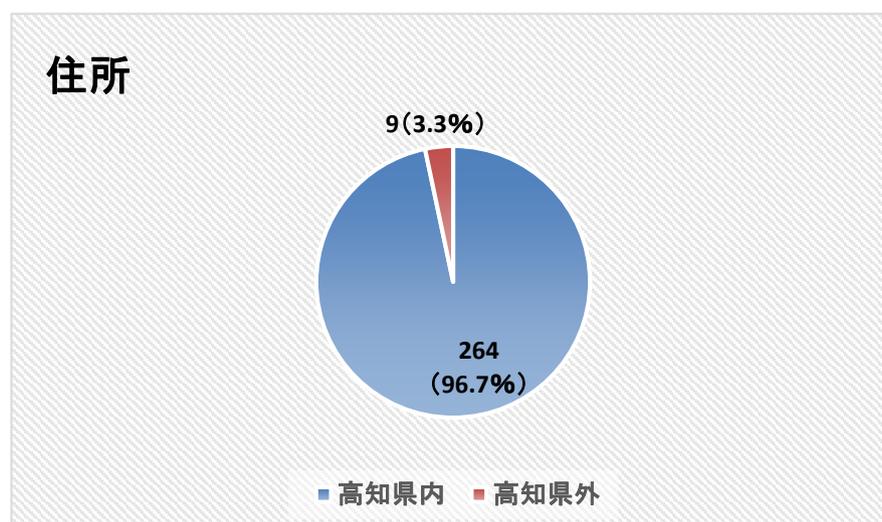
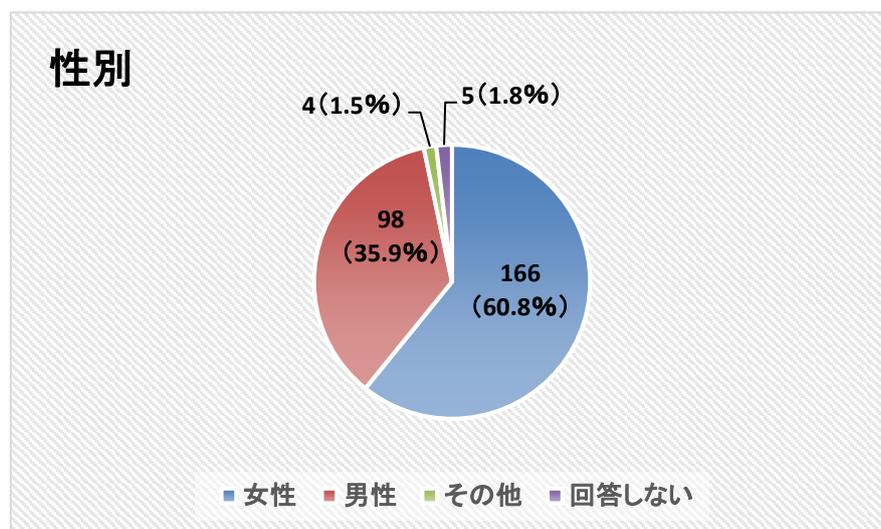
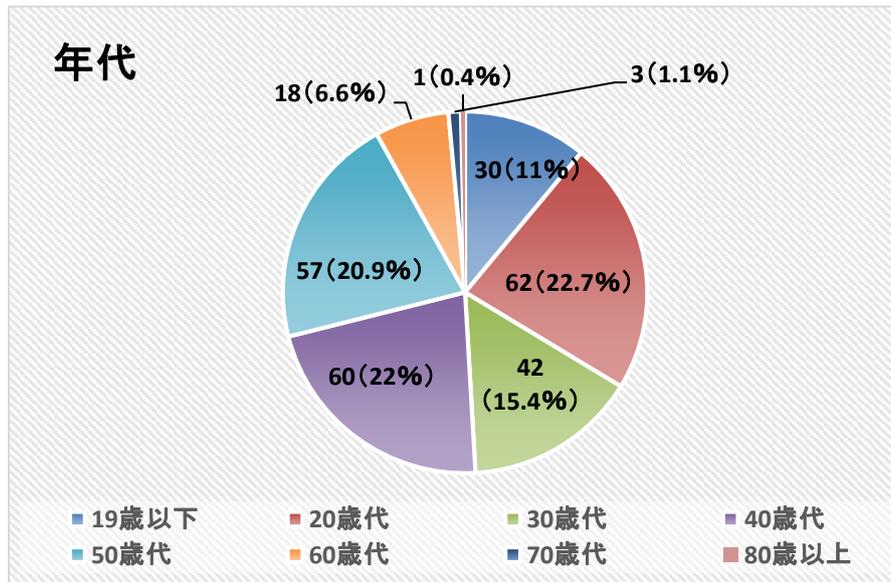
最も多かったのは「家事・育児等と議員活動との両立が難しい」(60.1%)で、『政治＝男性』という先入観がある(53.5%)、「女性候補者を増やすための制度整備がまだ不十分」(48%)、「女性議員や候補者に対するセクハラやパワハラがある」(45.8%)も多くの方が選択しました。女性議員が活動するには、周囲の理解やサポートする仕組みが不十分だと考えられていることがわかります。

【問3】これから女性議員が増えていくことによって、期待する変化を選択してください。（選択式・複数回答）

「子ども福祉や支援が充実して子育てしやすい社会になる」が 70.3%と最も多く、次いで「ジェンダー格差が少なくなる」(55.3%)、「生活者の目線を活かした住みやすく働きやすい社会になる」(49.5%)となっています。

約6人に1人が「性別による期待度の違いはない」(17.6%)と回答し、女性議員が増加することに対して特段の期待を持っていないこともわかりました。

【回答者について】



ソーレWEBアンケート「女性の政治参画」集計結果

アンケート実施期間: 令和4年6月15日～7月15日

【回答者について】

年代(全体)

年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
人数	30	62	42	60	57	18	3	1	273
割合	11.0%	22.7%	15.4%	22.0%	20.9%	6.6%	1.1%	0.4%	100.0%

(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

性別

性別	女性	男性	その他	回答しない	計
人数	166	98	4	5	273
割合	60.8%	35.9%	1.5%	1.8%	100.0%

(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

性別(年代分類)

年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
女	26	53	20	31	26	8	1	1	166
割合	15.7%	31.9%	12.0%	18.7%	15.7%	4.8%	0.6%	0.6%	100.0%
男	3	7	19	29	28	10	2		98
割合	3.1%	7.1%	19.4%	29.6%	28.6%	10.2%	2.0%		100.0%
その他		2	1		1				4
割合		50.0%	25.0%		25.0%				100.0%
回答しない	1		2		2				5
割合	20.0%		40.0%		40.0%				100.0%

(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

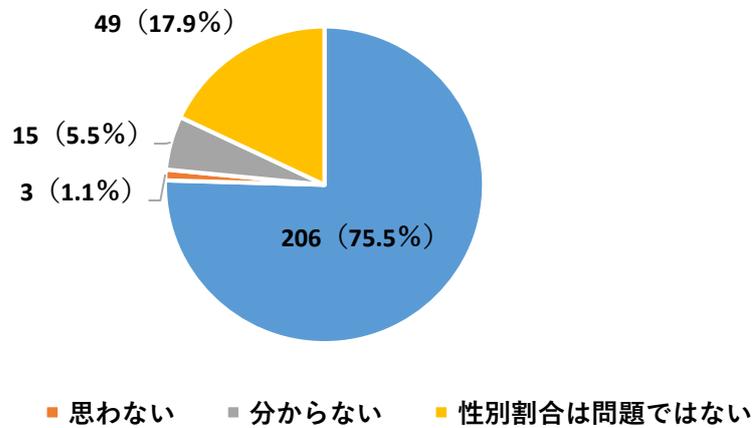
住所

住所	高知県内	高知県外	計
人数	264	9	273
割合	96.7%	3.3%	100.0%

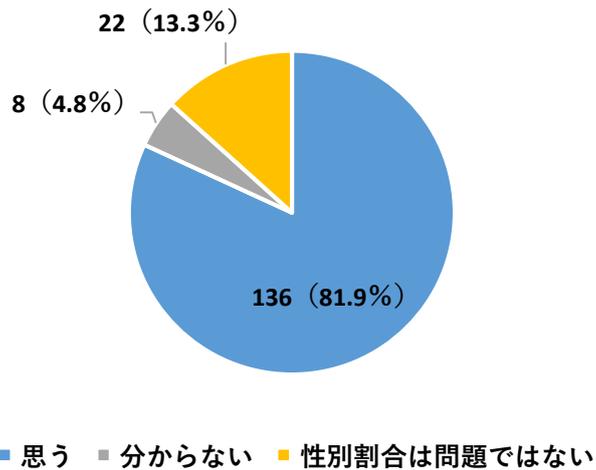
(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

【問1】 女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思うか？

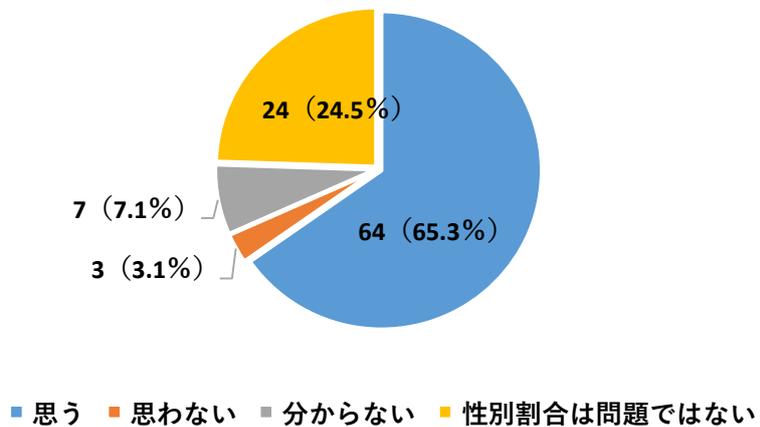
全体



女性

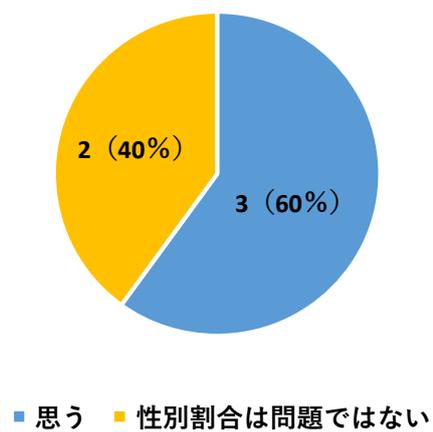


男性

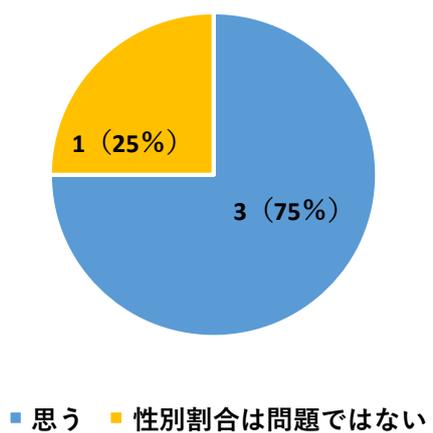


【問1】 女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思うか？

回答しない



その他



【問1】 女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思うか？（性別・年代別による分類）

性別	年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
全体数		30	62	42	60	57	18	3	1	273
割合		11.0%	22.7%	15.4%	22.0%	20.9%	6.6%	1.1%	0.4%	100.0%
思う		25	46	27	41	46	17	3	1	206
割合		12.1%	22.3%	13.1%	19.9%	22.3%	8.3%	1.5%	0.5%	100.0%
思わない			1		1		1			3
割合			33.3%		33.3%		33.3%			100.0%
分からない		3	3	3	2	4				15
割合		20.0%	20.0%	20.0%	13.3%	26.7%				100.0%
性別割合は問題ではない		2	12	12	16	7				49
割合		4.1%	24.5%	24.5%	32.7%	14.3%				100.0%

性別	年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
女性		26	53	20	31	26	8	1	1	166
割合		15.7%	31.9%	12.0%	18.7%	15.7%	4.8%	0.6%	0.6%	100.0%
思う		22	43	15	23	23	8	1	1	136
割合		16.2%	31.6%	11.0%	16.9%	16.9%	5.9%	0.7%	0.7%	100.0%
分からない		3	3		1	1				8
割合		37.5%	37.5%		12.5%	12.5%				100.0%
性別割合は問題ではない		1	7	5	7	2				22
割合		4.5%	31.8%	22.7%	31.8%	9.1%				100.0%

(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

性別	年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
男性		3	7	19	29	28	10	2		98
割合		3.1%	7.1%	19.4%	29.6%	28.6%	10.2%	2.0%		100.0%
思う		2	2	10	18	21	9	2		64
割合		3.1%	3.1%	15.6%	28.1%	32.8%	14.1%	3.1%		100.0%
思わない			1		1		1			3
割合			33.3%		33.3%		33.3%			100.0%
分からない				3	1	3				7
割合				42.9%	14.3%	42.9%				100.0%
性別割合は問題ではない		1	4	6	9	4				24
割合		4.2%	16.7%	25.0%	37.5%	16.7%				100.0%

(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

【問1】 女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思うか？（性別・年代別による分類）

性別	年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
その他			2	1		1				4
割合			50.0%	25.0%		25.0%				100.0%
思う			1	1		1				3
割合			33.3%	33.3%		33.3%				100.0%
性別割合は問題ではない			1							1
割合			100.0%							100.0%

(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

性別	年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
回答しない		1		2		2				5
割合		20.0%		40.0%		40.0%				100.0%
思う		1		1		1				3
割合		33.3%		33.3%		33.3%				100.0%
性別割合は問題ではない				1		1				2
割合				50.0%		50.0%				100.0%

(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

【問1－①】「女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思うか」に対する、回答理由を教えてください（自由記述）

〈「思う」と回答〉

《女性》

(19歳以下)

- ・男性と女性で政治への考え方や日本の動かし方など、全然違うと思うので女性の意見も反映してほしいから。
- ・女性視点からの意見がもっと施策に反映されてほしいから。
- ・女性議員が増えないと男性中心の社会の基盤はなくなってしまうから。
- ・女性の意見も反映すべきだから。
- ・国会で女性差別的な発言をする人がおり、ニュースとして取り上げられている現状が不愉快であるため。女性の立場を理解できるのは男性よりも女性であるため。男性と女性は平等な数にするべき。
- ・女性の立場からの意見や考えも反映されるべきだと考えるから。
- ・女性特有の問題もたくさんあるから。
- ・女性の議員が増えると、女性の困っていることとかがより社会に伝わりやすいと思うから。
- ・女性議員数が増えなければ、大半が男性議員から出た考えの政策や政治であり、今までのあり方と変わらないから。女性議員が増えることで今までと違った視点から政策を考えることが出来ると思う。
- ・近年「女性の権利」という点で問題が上がっている。男性にももちろんしっかり考えている人もいるが、女性の権利は女性自ら得るものだと思う。そのためには女性の議員が増えるべきだと思う。
- ・男性側も女性側も、意見を主張する機会を均等にする事で平等な社会を作ることができるから
- ・色々な差別が減ってくるかもしれないし、働いてる女性が生きやすくなるかもしれないから。
- ・女性がいれば、女性の意見が反映されるから。
- ・女性の立場向上のためと、女性のための制度や考えが反映されるため。
- ・男女平等な社会にするために、女性の立場からも意見を言えるよう、女性の議員さんが増えたほうが良いと思うから。
- ・女性の意見を反映しやすくするため。
- ・この地域に住む半分の人口は女性であるにも関わらず、男性の価値観のみで政治がされては女性の意見を汲むことが出来ない。だからこそ女性の意見を代表して発表してくれる女性議員が必要であると思うから。
- ・女性ならではの視点で物事が見られることが少なくなり、女性が不利になることがあるから。
- ・女性の視点から見た政策も取り入れやすくなると思うから。
- ・女性議員が増えることで、女性視点での意見も増えると思うから。

(20歳代)

- ・生理の貧困問題、選択的夫婦別姓など女性目線だからこそわかることもたくさんあると思うので、女性の意見をあげられる議員さんがもっと必要だと思うから。
- ・女性目線の問題について考えを持ってくれそうだから。

- ・災害時の生理用品の物資など、届けられなくては困るものが届かずに困ったという話をよく聞いた。また、生理の貧困などというよくわからない単語が増えており、女性の目線から、どのように解決していくのが好ましいのか発信する必要があると思うため。
- ・女性の意思を政治に反映するため。
- ・様々な立場の意見が出るから。
- ・様々な立場の方からの視点が政治でも重要だと思うから。
- ・女性議員や女性が政治に参画する事で女性の考えや性別に捉われない政策の提案に繋がるから。
- ・女性にしかわからない意見を言うことができるから（妊産婦や生理の問題など）
- ・一部の偏った価値観によらない政治判断を仰ぐため、3割は必要だと思う。そういった科学的知見があると聞いたことがある。
- ・女性の意見も同じ重要です。
- ・女性目線の意見が反映されにくいのではないかと考えるため。
- ・女性参画の取り組みを充実してほしいと思うから。
- ・男女半分ずつ存在しているのに、女性の議員割合が極端に少ないと女性の意見が反映されづらいから
- ・女性の意見も大事だから。
- ・女性議員が増えると、女性の立場に寄り添った政策や男女平等な政策を提案しやすくなると思うから。
- ・女性視点の意見が反映されるようになるから。
- ・様々な視点からの考えが政策に反映されると思うから。
- ・議員がどちらかの性別に片寄っていると、公平な政治ができないと思うため。
- ・女性の割合が増えれば、少数派である女性の意見が通りやすくなると思うから。
- ・女性も男性同様優秀な方がいるから、活躍してほしい。
- ・女性の意見も取り入れやすくなるから。
- ・女性の立場でしか理解や体験できない困り事があるから。女性の柔軟な価値観も政治には必要だと思うから。
- ・女性の視点でしか見えない細かい部分はたくさんあるため、男性と女性の割合は等しくするべきだと思うから。女性の割合は男性と比べて少ないだろうとは感じていたものの、参考値を見てこれほどまで少なく、男性との格差がまだまだ解消されていないのかと驚き、とても悲しい。例えば、育児面や家事等に関して、一般的にそれらに費やしてきた時間が圧倒的に多い女性だからこそ、気づくことができている事実が多いはずだ。
- ・男性にはわからない問題を世間に呼びかけることができると思うから。
- ・女性が暮らしやすい社会を作るためには女性の気持ちを分かった女性議員が必要だから。
- ・女性議員が増えた方が多様性のある意見が増えると思ったため。
- ・中絶問題など、女性の権利について理解が得られにくいから。
- ・女性だからこそ考えつく視点を政治に反映してほしい。

(30 歳代)

- ・女性にしか分からない問題点があると思うので。
- ・どれだけジェンダー平等が進んでも女性には生理・妊娠・出産など男性とは異なるライフステージが

あり、それら考慮した政策形成の必要があるため。

- ・女性の意見をより政治に反映させるため。
- ・単純に、これまでずっと男性ばかりの政界に女性が多く進出したら、どう変わるのか経験してみたい。女性の有権者がもっと大切にされるようになるだろうとも思う。あとは、今の政治にあまり期待できないのも理由の一つ。
- ・諸外国と比べて日本の女性議員の割合は極めて低い。男女同等の比率にすべきだと思う。
- ・女性ならではの視点が多く加わることで、より公平な社会の実現につながると考えるため。
- ・女性の声を反映させてほしい。
- ・人口の比率と同等の割合女性がいることにより、より民意を反映できると考えるため。
- ・政策に女性の意見をもっと反映させる必要があるため。
- ・男性優位の視点・施策に偏ってしまう可能性があるため。
- ・多様な価値観を政治に反映することができる。

(40 歳代)

- ・ジェンダーのバランスを取るため。
- ・従順なお飾りというのではなく、政治家としてふさわしい能力と経験をもった女性はたくさんいるだろうと思うから。
- ・年配の男性ばかりが議員になっている現状では女性（をはじめさまざまな人）の意見が政治に反映されていないから。
- ・議員における女性割合に偏りがあれば、政治的結論にも偏りが生じる可能性が高いため。
- ・世の中には男も女もおるのに日本では現時点では男の議員の方が圧倒的に多くてバランスが悪い。偏った政策になるから。
- ・私は性暴力・児童性搾取に問題意識を持っているのですが、女性がそれをもっぱらやっています。男性は搾取する側です。女性議員を増やしてほしい。
- ・もっと女性が議決の場に進出してほしいから。
- ・性別に偏りがあると、考え方にも偏りが出ると思うし、性別だけではなく、年齢層にも偏りがあると感じる。「住みたい町、住みやすい町」「魅力ある県」に高知をしていくために、多様な視点や新しい視点を取り入れるなど柔軟な考え方が必要であり、そのためには性別や年齢層に偏りがあるのは好ましくないと思うため。
- ・性別だけの問題ではないため、一概に誰でもいいから女性が増えた方が良いとは思いませんが、海外の他の国と比べて女性の割合が低いように感じます。
- ・国会議員個人の能力が政治に影響することはもちろんですが、性差による体験や経験の違い、考え方の違いがあるのも事実です。生活の中で多様な性の存在があるのと同様に、国民の代表となる国会議員においても、多様な性の存在があることが望ましいと思います。
- ・多様な生き方を支えるためには性別もある程度バランスをとる必要がある。
- ・社会の構造を作るのは政治。その政治の場に社会の約半数いる女性が少ないことは問題。
- ・その方が公平な社会をつくれそうな気がするから。
- ・女性議員、男性議員とも同数程度いるほうがよいと思うため。

(50 歳代)

- ・年配男性が世の中を回しているのは良くない。
- ・女性が増える＝女性の課題が解決するではないが、人口構成からも現在の比率はいびつ。適任者はいる。
- ・賛否両論いろいろな意見があると思うが、世界的なことはもとより、身近な生活のことに関しても男女協働で世の中が回るのだから、一定以上の女性の割合は必要だと思う。
- ・性別だけでなく、もっといろいろな意見や視点の人がいた方がよい。現在のメンバーは硬直しすぎている。
- ・少なくとも約50%でなければ公平な政治にならない。
- ・女性の意見が反映されるから。
- ・女性目線の政策がもっと策定されるべきだと思っているから。
- ・もっと女性の割合が高い方が女性の意見を反映しやすくなると思われる。
- ・学校や社会における男女の比率とかけ離れた、議員の女性割合を早期に是正すべきと考えるから。
- ・女性の意見を取り入れる為。
- ・一定数の女性議員がいないと、女性の意見が政策等に反映されないから。
- ・当事者抜きの政策では、何も先へはすすまない。政治における不平等。
- ・現状があまりにもアンバランスなため。
- ・ジェンダーバイアスが生じるから。
- ・いろいろな視点を反映させるためには不可欠と考える。
- ・歪んだ社会構造を是正し パワハラ アカハラ セクハラへらすため。
- ・多様な声を反映するため。
- ・女性ならではの視点。
- ・社会がもっと生きやすい方向へシフトする可能性があるから。
- ・女性独自の意見を国政に反映させ、社会改革してほしい。

(60 歳代)

- ・男性よりも生活に根ざした要求や思いが強い。戦争、軍備など争いに嫌悪感をもつ人が多いから。
- ・少なすぎます。半分は女性がいるべき。
- ・女性目線での問題提起と解決策ができると思います。また世の中には、まだまだ女性でないとわからない問題もあります。
- ・結局女性にしか見えないところが多く、男性議員目線では他人事、絵空事になっているから。
- ・男女平等であるべき。
- ・人口比にふさわしい性別割合になる方がいい。
- ・女性の立場を理解してもらい、働きやすい・子育てしやすい改革をしていただきたいと思います。

(70 歳代)

- ・多様な考え方が政治に反映されると思うから。

《男性》

(19 歳以下)

- ・女性目線からの問題提起がなければ住みやすい社会にはならないと思うから。
- ・女性の意見も議会では大切になってくるから。

(20 歳代)

- ・男女がほぼ半分ずつを占める人口構成を全く反映しておらず、公正でないから。
- ・もっと増えてもいいと思えるぐらい低すぎる。

(30 歳代)

- ・多様性が生まれる可能性。
- ・男女など特定の属性によって、議員の割合に大きな差が生じているのは、あらゆる住民の視点に立った政治が十分に行われぬ可能性が高まると感じるため。
- ・女性のことで女性自身にしかわからないことが多くあると思われる。そうしたことに配慮した適切な政策立案には女性の視点が不可欠であり、男女半数ずつ程度の割合になるのが理想と考える。
- ・女性目線での有益な政策立案に期待しているため。
- ・女性割合が人口割合に比べ著しく低い状況では、適正な政策形成が行われぬと考えるため。
- ・有権者の声を幅広く聞くためには、いろんな議員がいてしかるべきだと思うから。
- ・市民の意見を政治に反映するということを考えると性別のバランスはとった方がよいと感じる。
- ・男女の割合が大きく異なることに違和感を感じる。
- ・やはり異性では、性別に基づく意見に気付きづらいから。

(40 歳代)

- ・議員としての能力が性別によって大きく影響を受けるとは思わないので。
- ・多様な意見による議論が必要なため。
- ・現状では少なすぎ、女性目線の意見も反映されやすい社会になる必要があるため。
- ・男性ばかりはもう飽きた
- ・女性の立場に立った考えが取り入れやすくなる。
- ・参考値のとおり、政治への参加機会の不平等が起きているため。
- ・明らかに、住民全体と議会で男女比が異なるため。
- ・女性の声を反映するには、一定の人数が必要だと思います。男性による代弁では難しいのでは。
- ・30代～40代の子育てと仕事を両立している世代の女性の意見が反映されることが重要。

(50 歳代)

- ・意見が反映されるためには全体の3割程度がいた方がよい。
- ・女性議員を増やして多様性を確保することにより、政治を多面的な視点から見るができると思うから。

- ・女性目線の活動が必要。
- ・現状が少ないので。
- ・偏った思想で蔓延しやすいと思うから。
- ・人間の割合は男、女ほぼ同数だから。また、現在の生活実態からすると、生活のことを分かっているのは女性。もっと女性議員が増えることで、暮らしやすい社会となり、男性も暮らしやすい社会になると思う。
- ・人口の男女の割合からみて少ないから。
- ・割合が偏りすぎ。
- ・男性目線ではない意見が必要と感ずるため。
- ・男女同権の義務。
- ・多様な考え方が議会に反映されるから。
- ・各施策における性別による公平性等の確保。
- ・性差により求められる政策も異なると考える。女性が求める政策を政治に反映させるためには、女性議員の割合は低すぎる。
- ・人口の男女比率と比較して低すぎると思っています。
- ・女性の社会進出推進及び議員の男女比の偏りを解消する 女性の声を県政、国政に拡げるなど。
- ・女性の意見が反映されやすくなるから。
- ・女性の意見を政策に反映させるため。
- ・より多様な立場の考え方を政策に反映できる。

(60 歳代)

- ・外国に比べて女性議員が、極端に少ない。
- ・老若男女、それぞれの人口比と、合致していた方が良いと思うから。
- ・女性の意見。
- ・色んな課題に対応するには、異なる世代や性差やジェンダーの意見の反映が必要だから。
- ・女性の目線からの施策を出してほしい。
- ・女性や若い人も入って論議出来る政治にしてもらいたい。
- ・女性の意見が政治に反映されにくいから。
- ・女性の議員が増えることによって女性目線からの法律改正など様々な選択肢が増えるから。
- ・多様な意見 選択制夫婦別姓、ジェンダー等討議が盛んになると思える。

(70 歳代)

- ・半分以上が女性になってほしい。
- ・地域共生社会では当然のこと。

〈「思う」と回答〉

《その他》

(20 歳代)

- ・今まで政治から排除されていたあらゆる関心や課題が政治に取り上げられることで、女性が一人の人間として尊重される社会の実現や不平等の解消につながるから。

(30 歳代)

- ・男女比が 1:1 になってから、性別は問題なくなるとは思いますが、現状は女性が少なすぎることで、政策・に偏りが出ています。

(50 歳代)

- ・弱者や少数者に優しい政策が増える。

《回答しない》

(19 歳以下)

- ・女性にしか分からない問題もあると考えるから。

(30 歳代)

- ・同質性が極めて高く排他的・差別的な振る舞いに対する自浄能力のない構成員からなる組織が、健全な仕事をするとは思えない。ましてや立法院でそのような状況にあることは問題だと思う。政治家による女性蔑視発言への無自覚さや女性によるサービスを購入/求める事象が相次いでいる様子を見るにつけ、多様な主体が構成員の半数以上を占めることの意味は大きいように思う。

〈「思わない」と回答〉

《男性》

(20 歳代)

- ・まず第一に、女性議員の能力への疑問がある。近年は、政治に女性をもっと参加させるべきだと言う声もよく聞くが、政治に関する実力が伴っていないのに女性だからという理由で議員にするのは明らかに男性差別である。また、何かの論文で見たが、「男性は慎重に物事を考え、女性は直感や勢いで判断する性質があることが多い」という論文を見たが、これは最近採択された「AV 新法」から伺えるのではないか。現状、AV 新法を打ち出した女性政治家は、AV 女優や性的消費コンテンツ界の実情をわきまえず、身勝手にも自分の価値観で法を作成し、女優の失業などを含む失敗に陥っているのではないか。

(40 歳代)

- ・立候補する自由に男女の差はないため。

(60 歳代)

- ・男性や女性と考えるよりは、その人の資質の問題。

〈「性別割合は問題ではない」と回答〉

《女性》

(19 歳以下)

- ・女性が増えたからといって、より良い施策が行われるわけではないと思ったから。

(20 歳代)

- ・海外と比べても日本は女性割合が低い状態のため問題に挙がりやすいが、女性の割合を増やすことだけを目標にするのではなく、性別関係なく、本当に議員に適している人や、議員になりたい人がなれる環境（育休など）が整備されることが望ましいと思うので、それで結果的に男性割合が高くなることはしょうがないと考えた。
- ・能力ややる気のある人が評価されるべきと感じるため。女性が議員にならなくて良いと感じて立候補が少ないのなら無理に割合を上げる必要はないと感じる。
- ・適任ではない女性議員も無理に増やす必要はないと思うから。

(30 歳代)

- ・性別に関係なく能力と意欲のある人物がなった方が良いと思うから。
- ・様々な立場の人の声や意見があげられやすい政治を行えるのであれば、性別割合は関係ないのでは？
- ・真に政治をやりたい人がなるのが一番。そういった方が、男女問わず、健常者・障害者問わず声を吸い上げてくれればよい話。数字ばかり追いかけるのは違和感を感じる。
- ・必要なのは内容であり、性別ではない。性別が偏っているのに、能力等以外の要因があれば是正する必要はあるが、割合をトントンにすることのみをみるのは危険。
- ・議員としての思いや適性が重要だと思うから

(40 歳代)

- ・想いをもっていらっしゃる方がやられたら良いと考えるため
- ・中身が大事だと思うので、性別は関係無いと思います。
- ・性別で判断するのではなく、個人の資質で判断する方がよいから。
- ・資質の問題なので、性別にこだわる必要はないと思うから。

(50 歳代)

- ・国民の事を考えていれば、性別関係なく良い政治ができると思うから。
- ・相応しい人がなるべきだから。

《男性》

(19 歳以下)

- ・ ”私個人の考えとしては、「女性だから」とか「男性だから」とか、そういった要素で議員を選ぶのではなく、真に「国のため、国民のため」を思って行動ができる人、政治活動において優秀な人材が議員に選出されるべきだと感じているため、「女性議員が増えたほうが良い」とは思わない。強いて言えば、「女性だから」という理由で優秀な人が議員に選出されにくいという現状は由々しき事態であると考えられる。”

(20 歳代)

- ・ 性別問わず、優秀（やる気がある）な人材がなってくれたら良い。
- ・ 議員個人に魅力的な政策、人望があれば性別は関係ないと思うため。
- ・ 政治家になりたくない人が政治家になるのは問題あるが、なりたくてなっているなら問題ないと思うから。そのため、作為的に性別割合を変える必要はない。

(30 歳代)

- ・ 後援団体等との繋がりや違い、性別が女性であるというだけではその議員が女性の為になる政治を行う保証や縛りになり得ないから。
- ・ 性別ではなく能力で選出されるべき。
- ・ 男性（女性）であることを理由に議員の増減を議論するのは性差別的と考えるため。

(40 歳代)

- ・ 男女の比率が関係あるのでしょうか。
- ・ まず割合から考えるのではなく、なりたい方がなれるような環境になればいいと思う。
- ・ 女性割合の向上が必要だとは思いますが、それよりもいかに有用な人材が国政などに参画することができるのかを検討する必要があると思われる。
- ・ 増えればいいとは思いますが、性別は重要ではないと思う。「志」を持つ人を多くすることが必要ではないか。
- ・ 女性だからという理由で選挙で選ばれていないとも思えない。

(50 歳代)

- ・ 政治家を志す女性議員の絶対数が増えることは良いと思うが、単純に女性割合が 50%に近付くことが男女の政治思想の平等とは考えていないので。（男性議員でも女性の主張を理解できる方はいるはずだと・・・）。
- ・ 性別に関係なく政治活動に関心のある方がやるべきで、結果に割合を求めるのは違うと思う。
- ・ 資質があれば性別は特に関係ないと考えるから。
- ・ 女性だけがが増えることが望ましいのではなく、年代や背景など、もっと多様な議員構成が望ましいと

考えるため。

《回答しない》

(30 歳代)

- ・ 議員の性別割合は単なる選挙の結果であり選挙の目的はそこにはない。投票者の男女比・年齢層などが拮抗することの方が重要。

〈「分からない」と回答〉

《女性》

(19 歳以下)

- ・ 女性が増えればより隠れた問題が議題に上がると思うのでいいと思うが、必ずしもそういった議題が上がるわけでもないかも知れないから。これは人の性格や考え方によると思う。
- ・ 無理矢理に増やそうとするのなら意味はないと思うから。
- ・ 増えたところで何か変わるのかどうか分からない。

(20 歳代)

- ・ 女性割合が少ないことがどの程度政治的な弊害をもたらしているか知らないから。
- ・ やりたい人、できる人がやればいいと思う。

《男性》

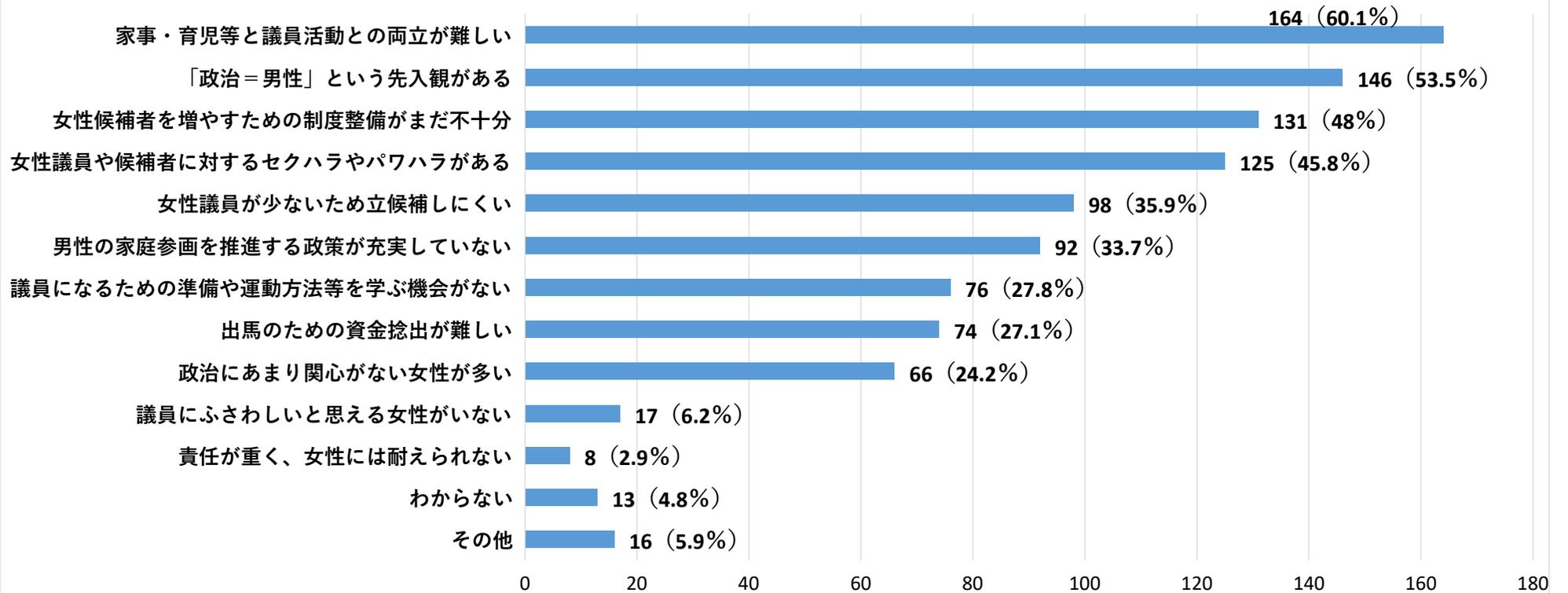
(30 歳代)

- ・ 女性の意見を増やし多様な意見を取り入れるという観点からは増やした方がいいとは思いますが、増やすことによってどのような影響を及ぼすか分からないため。
- ・ 理由は特にはないが、女性議員が多い方がいいのかどうか分かりません。

(50 歳代)

- ・ 現制度上女性が議員になるにあたって制約はないと考えるため。
- ・ 優秀な女性の方もいるとは思いますが、そもそもなり手が少ないのではという印象です。前に国会議員の女性割合を増やすという議論があったようですが、優秀な人の中になりてはいない、男性は私利私欲の場合もあるがやりたいと思う人は多いという構図があるような気がします。

【問2】 女性議員の割合が低い理由として考えられること (選択式・複数回答)



【問2】女性議員の割合が低い理由はなぜだと思いますか。(自由意見)

《女性》

(20 歳代)

- ・ただでさえ家事や勉強、仕事など立場が弱いために様々な負担を負わされ政治に参画する余裕もないから。
- ・男性社会という悲しい視野がまだまだ根強く残っている人が多いことから、声をあげたくても上げにくい社会が原因となっている。
- ・立候補する女性候補者が少ない。

(40 歳代)

- ・「政治＝男性」という先入観が一般的と感じるため、ハードルが高く、諦めている。
- ・男の有権者のマナーが悪い。「ああせい」「こうせい」と口ばかり出して、手を出さないです。
- ・女性を下に見る男性が政治の世界に多いから
- ・議員だけでなくすべてにおいて男性優位であり、それは歴史的背景によるものかと思います。
- ・高齢化しても議員として残っており昔の考えから固定しており全てにおいて古い高齢の考え等になっている気がする
- ・政治の世界において、男性が優先される風潮があるから

《男性》

(20 歳代)

- ・政治家になりたい女性が少ないから。

(40 歳代)

- ・世代の認識の違い。

(50 歳代)

- ・社会全体として、未だ「女性のリーダー」を特別視している。

(60 歳代)

- ・現職の男性の老人達が再度立候補するから。

《その他》

(20 歳代)

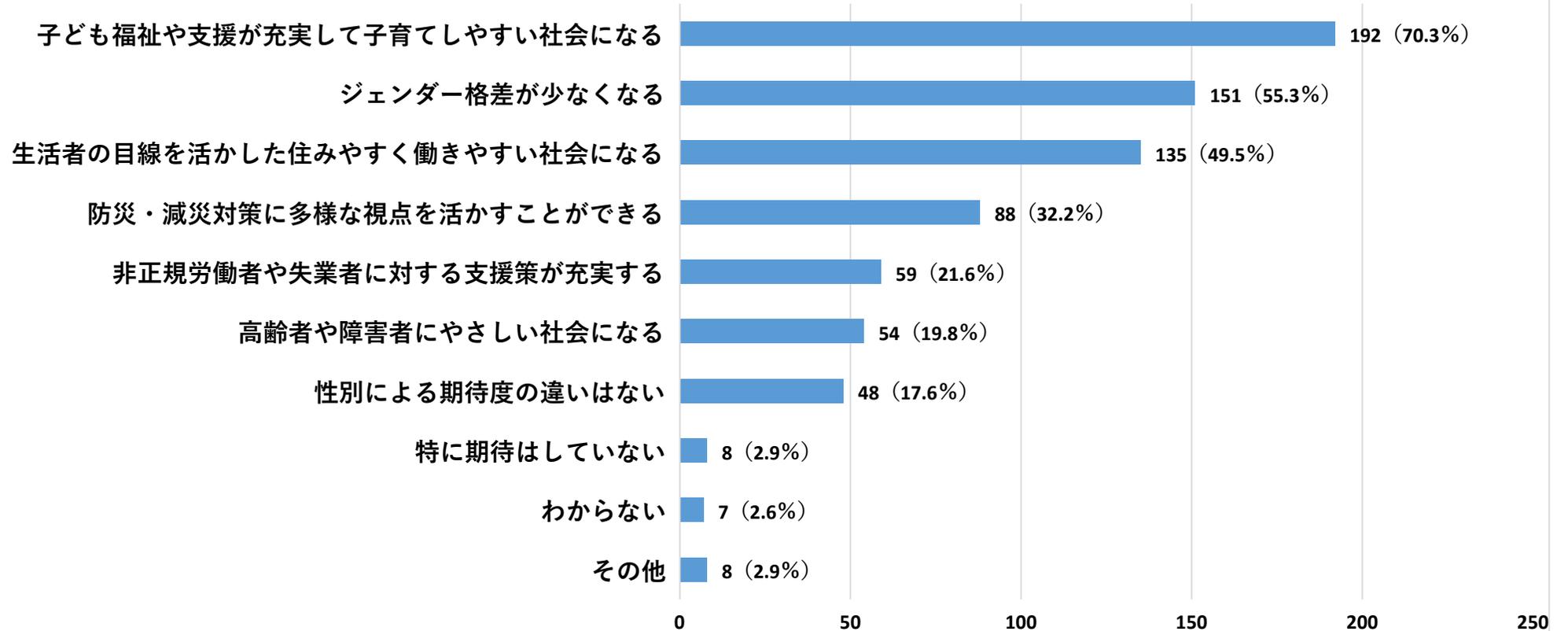
- ・男性の意識改革が不十分(「男性差別」「(女性議員が少ない背景は無視して)性別に限らず能力で選ぶべき」といった誤った考えが根強い)、女性議員は街頭やネット上で誹謗中傷を受けやすい。

《回答しない》

(30 歳代)

- ・政治の世界がマッチョで男性優位の文化に彩られているため、関わりたくないと感じる要素があまりに多い。結果的に女性候補者のみならず、「男らしくない」男性候補者が少ないことにもつながるよう感じる。
- ・本気でこの問題を考えるのであれば、きちんと周知した上で、女性に話を聞くべき。

【問3】これから女性議員が増えていくことによって期待する変化 (選択式・複数回答)



**【問3】これから女性議員が増えていくことで、期待する変化を選択してください。
(その他の意見)**

《女性》

(20 歳代)

- ・男女の経済格差や休暇など仕事面の理解を広げて、不平をなくす。
- ・性別による差はないと考えているが、マンネリ化している議会から脱却する起爆剤になることを期待している。

(30 歳代)

- ・セクハラ等の減少。

(40 歳代)

- ・性暴力対策。

(50 歳代)

- ・戦争や紛争を回避する意思決定ができるかもしれない。

《男性》

(50 歳代)

- ・長時間労働、勤務時間外の会議の改善、働き方の改革。

《その他》

(20 歳代)

- ・女性議員が増えることで、子育てや介護、非正規雇用や失業など、「女性が抱える課題」とされてきたことが社会、政治の課題としてようやく取り上げられるようになることは心から嬉しい。それと同時に、1 や 2 の選択肢のような変化は、日本社会全体として社会の「利益」につながること(男性にとってもありがたい変化)であり、女性が「個人として」尊重されること(学業や仕事での性差別禁止や賃金格差・雇用機会格差等の是正、女性管理職の増加、選択的夫婦別姓、緊急避妊薬のアクセス改善、性犯罪の刑法改正、中絶の際の配偶者同意要件の廃止、生理用品の軽減税率対象化等はほんの一部にすぎない)についての変化は歓迎されていないという現実は忘れてはいけないと思う。女性議員を増やしても男性にとっても都合のいい変化しか実現できないというのは、差別構造として非常にグロテスクだと思うし、差別や格差を是正しようとする側も、女性のエンパワーメントは女性のためであり、社会の利益のためではないことを今一度思い出し、訴えかけ方を変えるべき。「その人のため」でなく社会のためである時点で人権の話ではないので(高知市の研修等で、よく女性が働きやすいとみんな働きやすい、少子高齢化対策になる、女性の社会進出は社会にとっても利益などと言われている。もち

ろんそう言った方が男性の重い腰が上がりやすいのもわかるが、それが人権と尊厳を踏みにじっていることに無自覚だと思う)。

《回答しない》

(30 歳代)

- ・女性議員が増えると全てが良くなるとは思わないが、様々なバックグラウンドを持つ女性議員が増えることは、いろいろな面での変革を促すことにつながると思う。

【問4】このテーマについてのご意見を自由にお書きください。(自由意見)

《女性》

(19歳以下)

- ・今後、誰もが生きやすい社会を作っていくためには女性の国会議員を増やしたり専門職に就いたりすることは、大切なことだと考えます。
- ・政界という日本の中でも最も考えが凝り固まった分野においてすぐに国民の意見が反映されるとは思えないので、数十年後ぐらいにジェンダー平等になるのではないかと思います。
- ・女性が立候補しやすくなる計画が必要であると思います。
- ・女性議員が増えることで、一般の企業などでも女性の管理職を増やそうと思う企業が出てきたり働く意欲やワークライフバランスが高まったりすると考えており、そのためにはロールモデルが必要だと思った。
- ・女性、男性だからといって社会の政策が変わるかもしれないし変わらないかもしれない。これは人の考え方の問題だと思う。
- ・確かに、選挙の候補者を見ていると男性が多いなと思いました。

(20歳代)

- ・将来的に、女性の〇〇率などを気にしなくても取れるようになったり、子育て支援制度がもっと充実したり、社会全体の理解が深まったりする中で子育てしながら政治参加できる機会を意図的に増やしてほしいと思う。男女の格差がなくなってほしいと思う。
- ・男性の育休取得率の低さや、育児と家事・仕事の両立については昭和時代からあまり変わっていないのではないかと感じる。欧米諸国の女性議員割合をみても日本はまだ遅れていると思う。
- ・選択肢に疑問を覚える。女性には責任が重くたえられない、などそういった選択肢があること自体男女公平とは程遠いように思える。
- ・クォーター制を導入してほしい。
- ・今回や前回の調査内容を県や市、企業に共有するといった活用法は可能でしょうか？
- ・女性が政治に参加することによる、明確な変化は分かりませんが女性が一定数、政治の場にはいないと多様な価値観からの政治判断は難しいと思います。
- ・もっと良い社会に頑張りましょう！
- ・日本の年功序列制度も女性議員に悪い影響を与えていると思う。
- ・ジェンダー平等に向けて自分にできることは何か考えていきたいです。
- ・日本のジェンダーへの関心の低さは目に余るものがある。テーマとして良いと感じた。
- ・男性議員の女性への偏見的な意見をニュースで見るたびに、心が苦しくなります。性別に関わらず、人々の生活に寄り添ってくれる議員が増えることを希望しています。
- ・議員に限らず、役員や管理職に就く女性の割合が増えることで、より幅広い視点から物事を捉えられるようになればいいと思う。
- ・政治関心を高めることの方が、女性議員の人数が少ないことより、先だと思います。
- ・女性割合を増やそう！という単純な問題ではなく、女性も男性も平等な数の枠を設定しておくべきで

ある。そうすることで、枠が決められていれば、女性も声を上げやすくなるに違いない。法律というか、制度というか、社会全体が一斉に変わることは難しくても、1つ1つの団体がやり方を見直し、新しいルールを設定することで、ジェンダーに悩むことのない男性も女性も万人が意欲的に声をあげることのできる働きやすい社会となると確信している。

- ・女性の社会進出は、女性議員の誕生・増加によって、実現が可能となると思います。

(30 歳代)

- ・政治の場に女性が少ないことに関し、大きな問題として感じていない人が多いと思います。そういう問題があることを認識してもらうことが必要だと思います。

(40 歳代)

- ・積極的に社会のなかで話題として取り上げていくことが大事だと思う。
- ・そもそも女性議員だから優しい、女性議員だから弱い、という認識が性差別ではないか。女性が不利と感じつつ挑戦する女性は一般的な男性議員よりメンタルの強さが必要だと思う。
- ・本当に困っている事について目を向けてほしい。上流のみではないことを。高給もらっている方には感覚が分からなくなっている。日常の生活環境が充実しているから本当に困っている環境に目が向いていない方が多すぎる。
- ・女性議員が増えて、少子化対策や選択的夫婦別姓が進むことを望みます。
- ・女性が議員としてやっていくには家族の協力が重要。家事は女がするものなどという古い考えの男が世の中に多ければ、女性政治参加はいつまでも進まないと思います。
- ・私はわいせつ教員被害の被害者なのですが、男性大学人（特に政治学者）が応援演説等の体裁で、政治家・政党にするっと近づきます。自分たちに都合のいい政策を吹き込んでいます。また、支持者を「学者を尊敬しろ」と教育しており、迷惑しています。
- ・政治だけでなく、高知県や高知市の公務員の部長級に女性が限りなく少ない。市議会場に執行部側には女性はいない。これでは男女平等には程遠い。結婚、子育てに女性がかかる負担が多すぎるのが、女性の社会進出の弊害となりまた、少子化にもつながっている。議員の自宅住所の公表もやめた方がいい。
- ・先ほども申しましたが、年齢などの問題もあり、一概に性別だけの問題にしてしまうと誤解が生まれると思います。女性だとタレント議員が目立つように感じますが、子どもや福祉の問題だけではなく、俯瞰的に国政を考えられる女性議員の活躍を望みます。
- ・特段性別を区別する考え方ではないが、男性ならでは女性ならではの視点があると思うので、理想を言うと男女比率は半々であることがフェアだと思います。世代間の違い等様々な価値観があると思うので性別だけ切り取って半々というのも乱暴かもしれませんが。
- ・女性らしい視点などという表現は早くなくなればよいと思う。
- ・女性だけでなく、男性も含めてもっと若い世代が政治に関心を持つ社会にならないといけないと思う。政治が一部のマジョリティのものになっているから、社会の構造や仕組みが変わらない。議員は国民の代表者と言われるが、家庭生活や育児に参加してこなかった議員の中に生活者の視点を持った人がどれだけいるのか疑問。

- ・どうすれば良いのか、実際のところはよくわかりません。すみません。
性別にこだわらず、均等に活躍する機会が与えられるべきだが、特に政治の世界は「自分が秀でてい
る」という意識が強い男性が多いイメージがある。そのため、他の職種と比較し男性の割合が高いの
ではないかと思ってしまう。子育てに関する政策を女性が立案することも、男性や性的マイノリティ
の方が立案することもそれぞれ価値がある。「女性」「男性」を意識する必要がない自由な風潮になる
ことを望んでいる。

(50 歳代)

- ・すぐに効果は出にくい、地道に取り組まなければならない。
- ・アンケート形式からもジェンダー意識を高めるきっかけ作りとなる。人の意識の総体が変わらないと
政治の格差縮小は難しい。今後30年以内の日本の経済力や権力や政党の隆盛にしか興味のない男性
議員では日本は傾く。ジェンダー平等、女性議員の活躍を推進して、地球全体の環境と一生物として
の人間の役割に関心を持つ必要がある。女性政治家を増やすことが重要で、それは政治のみならずあ
らゆる分野で重要なスタート地点となる。
- ・女性が活躍できるようになる日が来るのを期待しています。是非、具体的な力になっていてくださ
い。
- ・女性らしい視点という言葉に違和感を覚える。他と比べれば男女共同参画が進んでいると考えられる
公務職場に長らく在籍しているが、女性らしい視点とって何を求められているのか悩むことがある。
私自身の意見はあるが、それが他の男性から見ると女性らしいのか不明。それは政治の場も同じでは
ないか。女性だから、男性だからと言わなくてよい社会が望まれると思う。
- ・男性だけで物事を決めると偏るのは当然なので女性も加わるのは当然だと思います。
- ・家事・育児に関する課題が女性特有のものと思われ、そういった状況を変えるには、女性の
政治への参画は重要と思う。
- ・今は、政治参加に対して性別が関係していると思うが、これからは「女性」を前面に出しすぎると逆
にそれが固定的なイメージを持たせてしまうのではないかと感じる。
- ・このテーマがジェンダーレスの今の時代にあわない。
- ・まずははちきんの高知から発信を。
- ・女性の台頭でオッサン社会を変えてみたい!

(60 歳代)

- ・女性議員が増えるのは望ましいが、かと言って女性だから誰でもいいわけでもない。
- ・高知県では県議会で少し増えたけれど、まだまだ少ない。政策的に増やすようにしないと、自然体で
は困難。
- ・子供の頃から家庭や学校で、政治について考えたり体験したりすることは大切だと思います。自分自
身の意見を持ち、きちんと自己主張出来る人間形成も大事だと思います。現在のように男性をたてて、
周りの意見に流され、自己主張しない女性作りが風潮としてまだ残る中で、女性の政治参画は厳しい
と思っています。
- ・弱者の視点で発言していかなければ、マッチョな男だけの視点や発言で平和憲法を生かした国にはな

らないと考えます。

(70 歳代)

- ・まずはどの政治の場にも30%になって欲しい。女性も努力の必要あり。

《男性》

(19 歳以下)

- ・現在の女性議員は高齢男性が好む女性議員像を演じている人も少なくないように感じる。

(20 歳代)

- ・女性議員が少ないのは、ロールモデルとしての先輩女性議員が少なく、立候補しづらいのが最大の要因だと思う。クォーター制を導入して女性の政治参加を増やすべき。クォーター制には「優秀な男性議員が減る」等の反対意見があるが、女性（ひいては、一般人）の能力をあまりにもみくびった意見だと思う。
- ・単に「女性を増やそう！」という短期目的のみで動くのであれば、全くもって無駄であると思う。問題は、女性が政治家になった後に、政党や周りからのサポートがあるかないか、また社会的に意味があることをできる女性が議員になれるかどうかの問題であると考える。

(30 歳代)

- ・我が家は私が専業主婦で妻にバリバリ働いてもらっているのですが、国内女性議員やNZのアーダーン首相等を見るに一般職業だけでなく政治職においても専業主婦体制の家庭の有り様は有効に働くのかなと思います。
- ・議員に限らず、企業の経営者や管理職の割合を増やしていく必要があると思う。
- ・女性議員の割合を増やすためには制度面での整備も重要ですが、男女間での所得格差など女性の社会進出を阻む根本的な要因を解決することも重要ではないかと思います。
- ・性別を問わず、人々の生活を良くするために効果的な政策を立案してほしい。
- ・いわゆるクォーター制を導入しない限り解決しない問題と考える。
- ・性別による考え方や能力の違い（傾向でもいいので）が何なのかを示されないと判断ができない。
- ・女性議員が少ない＝女性が政治参加しなくても生きていける世の中である。と考えることもできる。現制度に問題があるのか不明。
- ・始めから割合ありきに見える主義・主張に違和感を覚えている。

(40 歳代)

- ・性別による差別のない社会を望んでいます。女性の社会進出の議論をするとき「女性ならでは」といった性別による固定概念を捨てることも重要であると考えています。
- ・現在の男女比について、全体で無く、教育や価値観について異なる各世代についてのデータが無いアンケートに意味があるのでしょうか。

- ・女性の政治参画がもっと進んだ世の中になってほしい。
- ・長い時間のかかる取り組みと思う。
- ・身近なロールモデルがいればいいですが、なかなかいないのが難しいところですね。「政治って自分には関係がない」と思っている方は男女問わず多いような実感があります。どうしたら解消されるのかなと思っています。
- ・男女共同参画社会を実現するためには、男性と女性の対話が重要。様々な地域で様々な生活環境にいる人たちの座談会などを行い、その意見を政治に反映させる。主催は議員でも行政でもいい。
- ・諸外国と比較すると確かに女性議員の割合が低いことから、日本でも見直すべきとの議論をよく耳にするが、それよりも国会議員をはじめとする議員の資質向上を先ず検討すべきではないでしょうか？ 当選後の議員活動などを評価・分析したうえで、女性議員の割合が増えることでどのような可能性があるのかなどを分析したほうが男女共同参画時代実現に向けた具体的な有効策などが出てくるのではないのでしょうか？
- ・議員となった人の割合だけでなく、立候補者や当選率のデジタル化も必要ではないか。政治家を目指しても、女性だから当選できないと思われたいのためにも。

(50 歳代)

- ・政治参画だけに限らず、様々な場面での女性参画を考えることが重要であると思う。社会におけるジェンダーバイアスをなくすためには初等・中等教育でのジェンダー教育が大切であり、そのためには教員に対するジェンダー教育も重要であると思う。
- ・女性議員を増やして、新しい目線で政治を拓いてほしい。
- ・女性議員が一定程度増えるまで、クォーター性のような制度を導入しないと、なかなか女性議員は増えないと思う。外国では、増えている、国は多い。そろそろ日本も本気にならないと増えないと思う。
- ・クリーンな政治になるように期待したい。
- ・もっと、参画を呼びかけてください。
- ・女性議員の数が増えることが、ジェンダー格差の是正や子育て支援に繋がるのかもしれないが、男性議員の女性理解や子育て支援への理解を深めることが全体としてのジェンダー格差の減少に繋がるのではないかと考える。男女で役割が違うという古い考え方を脱却しなければ先には進まないが、現実的にはその役割に性別による区分が残ってしまっているため、子育てや男女の役割についての教育が次世代を担う子供達に必要なではないかと思う。
- ・女性議員の割合をどのようにすれば増やせるかという趣旨のアンケートと思います。前の項でも書きましたが、女性を優遇してもあまり意味がないと個人としては思いますし、本当にやる気がある人がいるならば、男性とは別な目線で問3のような改善もみられると思いますので、応援したいです。
- ・今後も積極的に本テーマを投げかけていかれることを期待しております。
- ・女性議員が少ないのは、確かに目立つため大きな問題のように思えるが、女性議員だけを増やすことを目指すのも異なるように思う。女性だけでなく様々な人が、政治に参画できるようにすることが肝要かと思います。

(60 歳代)

- ・男女関係無く政治に参加して、色々な意見を出すべきだと思います。
- ・人口比と同じ様に、男女比も、法定する。
- ・具体的な施策が必要！ 議会内の比率を法で決めるとか。
- ・若い女性が入り子育てや教育、福祉など基本的なものを充実していただきたい。
- ・女性議員という意識より良い人が議員になれば良い。議員を考えたことがあるが、なることが難しい。
- ・女性参画への問題点を洗い出すのに良い。
- ・既得権益で動く、新しい視点が入り辛い、制度として比率を決め少しずつ半々に近づける必要が有る。又、その他の立場、障害者やマイノリティーの参画も定数を定めるなど多様な意見の吸い上げる事が出来る制度が必要です。

(70 歳代)

- ・女性は自信を持って政治に参画してほしい。男性が中心の政治にお飾りになってほしくない。
- ・女性議員を増やす啓発になる。

《その他》

(20 歳代)

- ・ノンバイナリーであり aro/ace である回答者として言うと、一般的に「女性議員を増やす」についての議論は、性別は男性か女性かのどちらかしかなく、女性は異性愛者であり、結婚して子育てをし、介護を担うことが前提として考えられているようで、このアンケート調査からもその前提が透けて見えた。戸籍上の性別は女性でも、ジェンダーアイデンティティは異なる人もいる(トランスジェンダー、ノンバイナリー、ジェンダーフルイド、クエスチョニング等)。また、ジェンダーアイデンティティが女性でも、レズビアンの人がいれば、パンセクシャルの人もいて、同性婚ができない社会に苦しんでいる人もいるし、異性愛者でも結婚する/しないの選択は自由で、子どもが産めない人も子どもを産まない選択をする人もいる。aro や ace の人もいる。様々な理由で家族関係が悪く、介護を担わない人もいるし、親が他界しているケースもある。もっと多様だということを知ってほしいし、多様であることを前提に議論してほしい。

(50 歳代)

- ・ジェンダーギャップの大きい日本では強制的に女性議員の割合を増やす制度がないといけない。

《回答しない》

(30 歳代)

- ・自由記述欄およびその他の欄に書いたことに尽きる。

ソーレWEBアンケート テーマ「女性の政治参画」

〈質問事項〉

— 基本事項 —

- ・あなたの性別
(女・男・その他・回答しない)
- ・あなたの住所
(高知県内・高知県外)
- ・あなたの年齢
(19歳以下・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳以上)

【問1】

日本における女性議員割合は下記のとおり低くなっています。女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思いますか？

〔選択肢〕

思う・思わない・分からない・性別割合は問題ではない

【問1－①】上記について、その理由を教えてください（自由記述）

【問2】

女性議員の割合が低い理由はなぜだと思いますか。次から選択してください。

(いくつでも)

〔選択肢〕

- ・女性候補者を増やすための制度整備がまだ不十分
- ・女性議員や候補者に対するセクハラやパワハラがある
- ・男性の家庭参画を推進する政策が充実していない
- ・家事・育児等と議員活動との両立が難しい
- ・議員になるための準備や運動方法等を学ぶ機会がない
- ・出馬のための資金捻出が難しい
- ・「政治＝男性」という先入観がある
- ・政治にあまり関心がない女性が多い
- ・責任が重く、女性には耐えられない
- ・議員にふさわしいと思える女性がいらない

- ・女性議員が少ないため立候補しにくい
- ・わからない
- ・その他（自由記述）

【問3】

これから女性議員が増えていくことによって、期待する変化を選択してください。（いくつでも）

〔選択肢〕

- ・子ども福祉や支援が充実して子育てしやすい社会になる
- ・高齢者や障害者にやさしい社会になる
- ・非正規労働者や失業者に対する支援策が充実する
- ・生活者の目線を活かした住みやすく働きやすい社会になる
- ・防災・減災対策に多様な視点を活かすことができる
- ・ジェンダー格差が少なくなる
- ・特に期待はしていない
- ・性別による期待度の違いはない
- ・わからない
- ・その他（自由記述）

【問4】

このテーマについてのご意見を自由にお書きください。（自由コメント）